中野 仁人 教授

お問合せ先
corc@kit.ac.jp
産学公連携推進センター

■キーワード
地域　医療　防犯　グラフィック　映像

地域社会に貢献するデザイン
インフォメーション・グラフィックの展開

■研究の概要

デザインは、人間がより良く暮らし、より良く生きる環境を作るための行為です。すなわち、身体的・精神的・社会的に良好な状態を実現することを目指す活動であるといえます。超高齢社会、少子化、人口減少など日本を取り巻く環境は今後ますます厳しい状況となることが予測される中で、さまざまな情報をインフォメーション・グラフィックを駆使して視覚化し、地域の人々にわかりやすく発信することを目指しています。

■研究・技術のプロセス／研究事例

研究室では、京都府立医科大学をはじめ、医療関係者や製薬会社と連携し、医療にまつわる情報をわかりやすいデザインで伝えるプロジェクトに取り組んでいます。実際の患者数と治療を受けている患者数との差、すなわちトリートメントギャップを埋めるために、メディカル・インフォメーション・デザインを構築した上で、地域医療にアクセスしやすい環境づくりや、検診の促進など予防医学に貢献することを目指します。例えば、アルコール依存症患者やうつ病患者を診療に誘うツールのデザインや認知症患者をサポートするデザインを進めています。

一方、京都府警察と連携し、地域社会の安全を保つためのプロジェクトも多く行なっています。子ども防犯対策のためのテキストやグッズ開発とともに防犯教室に参加したり、高齢者を対象にした特殊詐欺注意喚起のためのデザインを展開しています。

■お酒のお悩み相談室アニメーション
■認知症との付き合い方テキスト
■子どもながら見守りステッカー
■子ども防犯テキスト
■防犯教室
■うつ病のためのアニメーション
■特殊詐欺啓発チェックシート
■不妊治療と特別養子縁組パンフレット

■セールスポイント
伝えるべき情報を整理し、最適な文字、イラストレーション、写真を用いてさまざまなアイテムをデザインし、その展開の方法を探ります。